

感染症予防ガイドライン

【AS競技】大会・競技会編

このガイドラインは、大会・競技会において、参加者全員が新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、参加者全員が安心・安全を感じられるよう開催することを目的としています。そのためには、皆さんの理解と協力が必要です。自身や家族、仲間を守るためにも、ガイドラインに沿った行動をお願いします。

1. 大会14日前から大会前日まで

①大会出場前の14日以内において以下のいずれかの事項に該当する場合は参加を見合わせる事。

- ・発熱(37.5℃以上)を認める。
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状がある。
- ・だるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある。
- ・臭覚や味覚の異常がある。
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触歴がある。
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる。
- ・大会出場の14日前までに政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航歴がある、または当該在住者との濃厚接触歴がある。

②指定の「健康管理表」に大会当日とその7日前から健康状態を記録すること。

【健康管理表について】

- (1) 健康管理表は感染症の拡散防止を目的に、参加者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要な連絡のために利用します。
- (2) 大会出場日の7日前から体温と健康状態について正確に記入してください。
- (3) 健康管理表は大会要項で指定する専用の様式を使用してください。
- (4) 記載に不備がある場合は、原則、大会の出場または会場への入場を許可しません。
※記入内容は、ボールペンを使用するなど容易に消えないようにすること。

③感染予防策に必要なものは、各自でも準備しておくこと。

消毒液、除菌シート、マスク、ビニール袋など

- ※マスクは水濡れ等で使用できなくなることが予想されるため、かならず予備を用意すること。
- 不要になったマスクは、ビニール袋等に収納して持ち帰る（会場内では捨てない）。

2. 大会当日

2.1. 集合について

- ①なるべく公共交通機関の利用は控える。
- ②集合場所は蜜とならないよう工夫する。
- ③集合時間はなるべく開門の30分以内で設定すること。
- ④施設で定められた感染対策を守ること(入場方法、手指消毒、検温など)。
- ⑤引率責任者は予め、参加者の健康管理表に不備がないか確認しておく。

また、体調不良者がいる場合には帰宅させる。判断に迷う場合は、開門までに運営スタッフに申告する。

- ⑥ミーティングや準備体操などを行う場合にはマスクの着用は必須とする。
- ⑦資料などは共用を避ける(各自への配布が望ましい)。
- ⑧机や椅子など共用するものは使用前後に除菌・消毒を行う。

2.2. 開門について

- ①十分な距離を確保し、整列する。
- ②「健康管理表」を提出し、検温を受けること。
※検温にて発熱が認められた場合は、運営スタッフの指示に従う。
- ③その他、入場方法の詳細は大会要項や運営スタッフの指示に従う。

2.3. 更衣室について

- ①更衣室は大会要項や施設の注意事項に従い利用すること。
※入室人数制限を行う場合がある。運営スタッフの指示に従う。
- ②更衣室の入退時に手指消毒を行う。また、共用部（ロッカー、トイレなど）は使用前後に除菌・消毒を行う。
- ③更衣室の滞在時間を極力少なくなるよう工夫すること。
 - ・来場時には予め水着を着用する。
 - ・身体や髪が濡れている場合は更衣室に入る前に十分に水分を拭き取る。
- ④シャワーの使用は最低限とし、短時間で済ませる。
- ⑤更衣中もマスクを着用し、会話は最小限とする。
- ⑥マスクを外しているときに、咳やくしゃみが出る場合には、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。

2.4. プールサイドについて

- ①極力、窓・ドアの開放や換気設備を使用し、通気性を確保する。
- ②参加者同士は十分な距離を確保する。
- ③柔軟やトレーニングを行う場合もマスクを着用し、不要な会話は避けること。
※複数人で行うストレッチや運動メニューは極力行わない。

- ④トレーニング用具は個人用とし、共用は極力避ける。やむを得ず、共用する場合は使用前後に除菌・消毒を徹底する。
- ⑤トレーニング後は、しっかり手指や用具等の消毒を行う。

2.5.水中トレーニング、競技出場について

- ①マスクは極力入水直前まで着用すること。
 - ※マスクの着用について運営スタッフから指示があった場合には従う。
- ②マスクやタオルなどの私物は、ビニール袋やケースなどに収納し、保管すること。
 - ※私物のむき出しでの放置は禁止する。
 - ※収納用のビニール袋やケースは可能な限りコンパクトなものとし、所属、名前を見えるように記載する。
- ③水中では、会話を控えてできるだけ他者との間隔を保つ。
- ④プールから上がった後は速やかにマスクを着用する。
 - ただし、演技直後やウォームアップ直後などは呼吸が落ち着いてからのマスク着用とすること。その際は静かに待機し、私語は禁止する。
- ⑤監督・コーチの大きな声での指導は避ける。
- ⑥マスクを外しているときに、咳やくしゃみが出る場合には、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。

2.5.1招集について

招集所での会話は極力避ける。

【フィギュア競技、バジジテスト】

- ・運営スタッフの指示に従い、他者との間隔を空けて整列する。

【ルーティン競技】

- ・自分の出場順の2番前の選手の演技が開始されたら、招集所で待機する。密を避けるため、早めの集合は控えること。

※自分の出場順は当日各団体に配布するスタートリストであらかじめ把握しておく。

2.5.2.応援について

声援は禁止する。代わりに、大きな拍手で応援すること。

2.6.飲食について

- ①手洗い・手指消毒を徹底する。清潔で、かつ常時換気できる環境を確保する。
- ②アクリル板がない場合は、対面を禁止する。
- ③飲食に関するものの共用、共有やシェア（分け合い）は禁止する。
- ④食事中の会話は禁止とする。
- ⑤マスクを外しているときに、咳やくしゃみが出る場合には、口を「肘で覆う」または「タオルや衣類で覆う」など咳エチケットを徹底する。

2.7.その他

- ①当日中に体調不良となった場合は、速やかに運営スタッフに報告する。
また、体調不良者を発見した際にも同様に運営スタッフに報告する。
- ②マスクなど自分のごみは必ず持ち帰る。
- ③選手は、自分の競技終了後、速やかに退館する。
- ④指定された以外のエリアへ立ち入らないこと。
- ④原則、大会運営者・施設管理者が定めたその他の措置・指示に従う。

3. 大会後

大会後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症」を発症した場合、またはその疑いが生じた場合、速やかに大会運営者に報告すること。

※自治体の新型コロナウイルスのステージ変更の影響で大会運営にも変更が発生する場合があります。
当日の大会運営者および運営スタッフの指示に従っていただけますようお願いいたします。

2021年5月26日 第二版

一般社団法人 富山県水泳連盟 アーティスティックスイミング委員会監修